

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
1 紀北町	対談項目1 銚子川の堆積土砂撤去に関するお礼について	銚子川の堆積土砂撤去につきましては、平成27年度からは、尾鷲建設事務所において堆積土砂撤去計画を作成するとともに、予算を確保しながら計画に沿った土砂の撤去を実施していただいております。地元住民の方をはじめ私も、大変安堵しているところでございます。誠に有難うございます。 来年度からの撤去方法についても瀬切れを解消する方法でお願いします。	事業の実施に必要な残土処分地については、貴町や地元の協力を得て、大白公園等の処分地が確保できたことにより、二級河川銚子川の堆積土砂撤去の進捗を図ることができ、感謝しております。 残土処分地が確保できたこともあり、銚子川では、昨年度、約3万6千㎡の堆積土砂を撤去したところです。今年度も継続して約2万㎡を撤去する予定です。 これからも、残土処分地の確保についてご協力をお願いします。 掘り方については、地元の建設事務所の方で貴町と協議をしながら決めていきたいと思っております。
2 紀北町	対談項目2 橋梁耐震化対策について	現在、緊急輸送道路の直上に架かる紀伊長島地区の「江ノ浦大橋」の耐震事業を進めていただいているところで大変感謝しております。 当町には、他にも多くの重要な橋梁が存在します。海山地区の船津川の河口付近に架橋されている「相賀橋」においては、径間数も多いことから河川の増水により流木等がせき止められ、浸水被害等に繋がることが大変懸念されております。 紀伊長島地区の萩原川に架橋されている「両郷橋」は緊急時の避難経路となっていることから耐震化対策、落橋防止対策をお願いします。 国道422号の赤羽川に架橋されている「松原橋」は、町の中心地域と海岸部・山間部の集落を結ぶ特に重要な橋梁であります。 これらの橋梁は、緊急時の避難や災害時の人命救助、緊急物資の搬送に不可欠な橋梁で、現在、耐震化に対する調査を進めていただいておりますが、さらに早期の本工事への着手に向け耐震化対策予算の拡充確保を切にお願いするものであります。	紀北町内の緊急輸送道路では、耐震対策が必要な橋が3橋ありましたが、全て対策は完了しています。 ご要望の3橋は、孤立集落の予防や津波避難に資する道路にかかる橋であります。このうち、「両郷橋」、「松原橋」につきましては、昭和55年以降の基準を適用した橋であり、一定の耐震性能が確保されていると考えています。今後、点検等を進めて貴町とコミュニケーションを図っていききたいと思います。 「相賀橋」につきましては、耐震対策の方法を検討した結果、建設年が昭和36年と古いことから、新しい橋への架け替えを行うこととし、今年度、橋梁詳細設計を実施する予定です。
3 紀北町	対談項目3 土砂災害への対策について	当町には約700カ所の土砂災害警戒区域があります。そのうち650カ所がレッドゾーンになっており非常に厳しい状況の所がほとんどです。その中で紀伊長島地区に大変大きな予算をかけて対策していただいております。ハードとソフトを絡めながら命を守る防災を進めていかなければならないと思っておりますが、まだまだ危険な地区がありますので、地元の所長等ともお話しさせていただきますが、我々の要望が上がっていった際には、余程困っているのだなという認識を持っていただいておりますので、ぜひ取り組んでいただければありがたいのでよろしくお願いいたします。	土砂災害を防止するハード対策については、基本的には、老人福祉施設や介護保険施設等の要配慮者利用施設や、避難所として使用されている学校や公共施設等の保全を優先して取り組んでおり、併せて、土砂災害に関する防災訓練などのソフト対策も重要ですので、どういった所を優先して命を守るためにハード対策していかねばならないかということについては、地元の建設事務所の方から貴町と相談をさせていただいて連携して進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。